



とやま被害者支援センターだより

2019. 6.25 発行 第30号

犯罪被害者、特に性暴力の被害者について

ほんだクリニック 本田 万知子

これは、私事になりますが、平成23年12月に「ストップ性暴力ネットワーク富山Let's Voice」という民間支援組織を立ち上げました。名称からもお察しいただけると思いますが、これは女性や子どもの性暴力、性的虐待等の被害者への支援を目的にしています。

こういう組織の必要性を強く感じたのは、ある日、身近な女性から実父からの性的虐待被害を打ち明けられたことがきっかけでした。まさか!と驚愕するとともに、想像以上に被害が多いと実感したのです。そこで、いろいろ周囲に声をかけました。すると、これまで相談業務に携わってきた専門職種が予想以上に集まり、性暴力に特化した電話相談から始めました。その後、嬉しいことに、行政をはじめとして多くの関係者の力添えで、昨年、目標だった性暴力被害を専門にうける「性暴力被害ワンストップ支援センターとやま」が設立されました。現在、当初予想された以上の相談が寄せられていると聞いています。

一昨年、刑法改正で、強姦罪等の改正があり、性暴力に対する社会的認識も高くなってきていると感じます。最近は、私のところでも、性暴力被害が原因で、様々な心の問題を抱えて受診される方が確実に増えています。中でも特に悲惨

なのは被害者が子どもや未成年の場合です。心が痛みます。妊娠、性感染症に加え、ある人は、恐怖や不安の発作に悩み、また、他者への不信と自己への自責、自信喪失、無力感、嫌悪感、怒り、生活や対人関係のおくりづらさ……。しかも、心の痛みをやっと絞り出すように打ち明けることが出来た時、思いもよらぬ誹謗や中傷を受け、さらなる二重三重に心の被害を受けることすらあるのです。勿論、被害自体を少なくすることは必須ですが、不幸にして被害に遭ってしまった場合の早期からの適切な対応が大切であると痛切に感じています。被害直後にはまず安全な場と被害者の希望に沿った安心できる対応を、そしてその後大切なのは、日常生活を送られるようになることでしょうか。また、相談を受ける側が気をつけなければいけない事として、被害者が被害を打ち明ける際の重みの認識を持つこと、被害者に対する偏見を克服すること、同時に相談を受ける側の精神的なリスクを軽くする体制の必要性があるように思います。まだまだ拙い私ではありますが、今後も、とやま被害者支援センターをはじめとする関係機関・団体等のご協力をお願いし、少しでも、被害者の方々の心のやすらぎを回復できますよう共に精進してまいりたいと思っています。



平成30年度 臨時社員総会の開催

3月11日(月)、「とやま自遊館」において、平成30年度臨時社員総会が開催され、平成31年度事業計画及び収支予算が承認されました。

議題

1 平成31年度事業計画及び収支予算の承認

平成31年度事業計画(H31.4.1～R2.3.31)

項目	細目
相談事業	電話相談・面接相談・専門相談
直接的支援事業	危機介入と支援ニーズ把握
	心療・生活支援の積極的実施
	同行支援と社会的資源の活用
	犯罪被害者等給付金裁定申請手続きの補助
	被害者等自助グループ活動への支援
	広報啓発活動
広報啓発事業	県・各市町村合同巡回広報啓発キャンペーンの実施

項目	細目
支援員の養成・支援スキルの向上とニーズの把握	県内研修会等の開催
	県外研修会への参加
	調査・研究
	新規ボランティアの採用
関係機関・団体との連携による支援活動	(公社)全国被害者支援ネットワークとの連携
	関係機関との連携
安定的な財政基盤の整備	ファンディング活動の継続
	その他自主財源の確保

注:(公社)全国被害者支援ネットワークを、以下「全国ネットワーク」という。

平成31年度収支予算(H31.4.1～R2.3.31)

科目	平成31年度	平成30年度	増減	摘要
会費収入	8,220,000	7,055,000	1,165,000	
補助金等収入	7,500,000	8,450,000	△950,000	県、市町村会等
委託事業収入	4,000,000	4,000,000	0	県警委託事業
寄付金等収入	500,500	500,500	0	
経常収益計	20,220,500	20,005,500	215,000	
事業費支出	16,732,500	15,863,998	868,502	
管理費支出	3,488,000	4,235,477	△747,477	
経常費用計	20,220,500	20,099,475	121,025	
収支差額	0	△93,975	93,975	

報告事項

- 正会員の退会について
- 平成31年度新規支援活動員（ボランティア）の募集
- 「犯罪被害者週間富山大会」（仮称）の開催（案）について

令和元年度通常社員総会及び第2回理事会の開催結果

6月17日(月)、「とやま自遊館」において令和元年度通常社員総会が開催され、平成30年度事業報告と収支決算が承認されました。また、総会に先立ち永年功労職員等表彰が行われ、4名の支援活動員に理事長から表彰状が授与されました。引き続き、理事会が開催され、代表理事等が選定されました。



I 平成30年度事業報告

1 支援事業

区分/年度	H29年度	H30年度	増減数(率)
電話・面接相談活動	247件	385件	138件 (55.9%)
直接的支援活動	12回	35回	23回 (191.7%)
自助グループ支援	10回	7回	△3回(△30.0%)

【被害内容の内訳】()内はH29年度

殺人・傷害致死:69(10) 強盗:0(1) 性犯罪被害:66(62) 暴行・傷害:52(51)
その他身体犯:13(0) 交通死亡事故:99(6) その他交通事故:15(25)
財産的被害:19(12) 虐待・ストーカー・DV:9(16) その他:78(76)

2 広報啓発事業

活動区分・年度	H29年度	H30年度	増減数(率)
広報活動	56回	42回	△14回(△25.0%)
啓発活動	39回	28回	△11回(△28.2%)
合 計	95回	70回	△25回(△26.3%)

(1) とやま被害者支援センターだより

4・8・12月の年3回、各3,500部を発行した。

(2) 合同市町村巡回パネル展

富山県と合同にて各市町村を巡回するパネルを制作し展示した。

巡回市町村	期間	延べ日数	動員人員
15市町村	8/20～1/25	80日	65人

(3) 犯罪被害者週間行事

12月1日(土)インテックビル・タワー111において「講演会&コンサート」を開催(参加230名)した。
11月26日(月)JR富山駅にて、県や県警察、犯罪被害者等支援協議会加盟機関・団体、学生ボランティア等と協働し、街頭活動を行った。

(4) その他、関係機関行事等での広報活動

「おまわりさんの演奏とドリルの祭典」(8/5)「富山県安全なまちづくり推進大会・全国地域安全運動富山県民大会」(10/10)「暴力追放富山県民大会」(11/15)など。

(5) とやま被害者支援センターの周知

ホームページ、富山地鉄市内電車、市町村広報誌、JR富山駅地下通路等への広告を掲載した。

3 支援員の養成・支援スキルの向上

(1) 継続研修等

区分	H29年度	H30年度	増減数(率)
実施回数	24回	22回	△2回(△8.3%)
延べ受講者数	189人	154人	△35人(△18.5%)

講師は、大久保理事、全国ネットワーク・コーディネーター、臨床心理士、警察職員等に依頼した。

(2) 外部研修(県内・県外)

区分	H29年度	H30年度	増減数(率)
参加回数	27回	33回	6回(22.2%)
延べ受講者数	113人	61人	△52人(△46.0%)

○全国ネットワーク主催の研修会、東海・北陸ブロック「質の向上研修」等に参加した。

4 財政基盤の整備

(1) 賛助会員

区分	H29年度	H30年度	増減数(率)
法人(企業・団体)	236	232	△4(△1.7%)
個人(警察職員・一般)	2,501	2,511	10(0.4%)
合計	2,737	2,743	6(0.2%)

(2) 支援募金箱

区分	H29年度	H30年度	増減数(率)
募金箱設置数	68個	67個	△1個(△1.5%)
募金総額	152,821円	151,397円	△1,424円(△0.9%)

(3) 支援自動販売機

区分	H29年度	H30年度	増減数(率)
設置台数	41台	43台	2台(4.9%)
金額	692,704円	444,023円	△248,681円(△35.9%)

・新設置7台、廃止5台

(4) 寄付金等

○県警察機動隊より、チャリティーバザーでの収益金24,000円の寄付(1月11日)を受けた。

○ホンデリング活動等

535冊分の代金5,988円を寄付金(振込手数料216円を除く)として受け取った。

○イオン高岡での「黄色いレシートキャンペーン」において、13,600円相当のイオンギフトカードの贈呈を受け、同店舗にて文具類等を購入した。

5 関係機関との連携

(1) 富山県犯罪被害者等支援協議会

(2) 富山県警察との共催による中・高校等での「命の大切さを学ぶ教室」へ12回の講師派遣を行い、2,949名が聴講した。また各地区のネットワーク総会へ参加するなど連携活動を推進した。

(3) 県、県警察、富山地方検察庁、法テラス、富山保護観察所、少年鑑別所等関係機関・団体と連携を深め、意見交換などを行い、より適した支援活動を検討した。

II 平成30年度収支決算(単位=円)

	科 目	平成30年度	平成29年度	増 減
経常収益	会費	8,549,000	8,458,000	91,000
	補助金等	12,450,000	16,970,000	△4,520,000
	寄付金	625,508	1,049,668	△424,160
	雑収入	172,490	965	171,525
経常収益計		21,796,998	26,478,633	△4,681,635
経常費用	事業費	17,886,308	19,320,817	△1,434,509
	管理費	2,647,708	5,117,484	△2,469,776
	経常費用計	20,534,016	24,438,301	△3,904,285
当期経常増減額		1,262,982	2,040,332	△777,350

III 理事・監事の改選及び代表理事の選定

(五十音順)

役 職	氏 名	改選	役 職	会 社
理事(理事長)	四十物直之	再任	代表取締役社長	(株)四十物昆布
理事(副理事長)	牧田 和樹	再任	代表取締役社長	(株)牧田組
理事(副理事長)	津嶋 春秋	就任	代表取締役社長	(株)アーキジオ
理事(専務理事)	奥井 博義	再任	事務局長	(公社)とやま被害者支援センター
理事	油本 秋美	再任	臨床心理士	富山県公認心理師協会
理事	伊東潤一郎	再任	代表取締役社長	アイティオ(株)
理事	大久保惠美子	再任	顧問	(公社)全国被害者支援ネットワーク
理事	根田 正樹	再任	学長	(学)高岡第一学園 高岡法科大学
理事	佐竹紳一郎	再任	院長	さたけ産婦人科
理事	三條 孝順	再任	税理士	(税)北陸中央会計三條孝順税理士事務所
理事	高野 二朗	再任	代表取締役社長	タカノ建設(株)
理事	寺下 利宏	再任	代表取締役社長	(株)ソシオ
理事	深水 信行	再任	弁護士	深水法律事務所
理事	本田 徹	再任	院長	ほんだクリニック
監事	猿田 淳子	再任	税理士	猿田淳子税理士事務所
監事	中村 厚	再任	代表社員	あおぞら経営税理士法人

活動報告(1月~6月)

研修会

○県内研修

◆継続研修(高志会館)



1/15 「裁判等における被害者支援の実態」
安田 奈津希 氏
(安田総合法律事務所・弁護士)

2/19 「ワンストップセンター発足から1年経って」
木村 なぎ 氏
(性暴力被害ワンストップ支援センターとやま・支援員)

6/18 「被害者支援における行政の役割について」
牧野 和彦 氏
(県警察本部運転免許センター・センター長)

- ◆事例検討会(当センター) 6/6 大久保 恵美子 氏
(公益社団法人全国被害者支援ネットワーク顧問・当センター理事)
- ◆情報交換会(高志会館) 3/23 30年度を振り返り意見交換等
- ◆ボランティア養成講座(高志会館) 5/20~5/24



「地方自治体における
被害者支援の現状」
県・防災危機管理課 市井 主幹



「警察における被害者支援」
警察相談課 中陳 調査官



「検察における
被害者支援の現状」
検察庁 川嶋 統括捜査官

○他機関主催研修

- ◆富山県主催 犯罪被害者等支援研修会(県民会館)

2/22 「犯罪被害者支援を考える」 大岡 由佳 氏(武庫川女子大 准教授)

○県外研修

内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」研修(金沢1名・2/7~8)
全国ネットワーク「質の向上研修」下期(三重2名・1/19~20)
都民センターでの実地研修(東京1名・6/17~21)

● 講演活動 ●

◆命の大切さを学ぶ教室

- 2/ 1 県立泊高等学校
2/22 県立雄山高等学校
2/26 富山国際大学付属高校



● 広報啓発活動 ●

ネットワーク総会 魚津・富山・砺波

富山地方鉄道 市内電車側面版広告(～2月)

滑川市社会福祉協議会発行「ふれあい総合相談」への掲載

支援自動販売機の設置

ボランティア募集記事の掲載(北日本新聞)

広報いみず「各種相談一覧」

広報とやま「5月の相談日程」



富山駅地下道広告



市町村巡回パネル展(高岡市)



イオン高岡南店「幸せの
黄色いレシートキャンペーン」



富山駅地下道広告

「犯罪被害者支援自動販売機」 の設置にご協力を

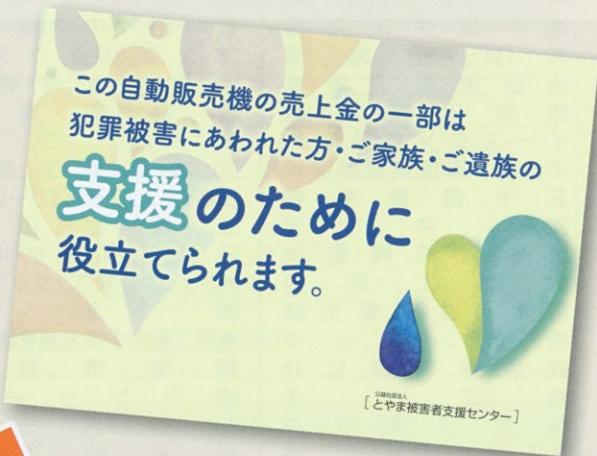


現在、飲料水メーカー様、民間企業様等のご協力をいただき、官公庁や民間企業様等に設置されている「犯罪被害者支援自動販売機」(以下「支援自販機」という。)において、その売り上げ代金の一部を支援金として当センターにご寄付していただいております。各方面からのご支援に心から感謝申し上げます。

加えて、新規に設置又は既存の自販機を活用して支援自販機に切り替えをご検討の個人・団体・企業・法人の皆様は、ぜひ当支援センターまでご連絡下さい。皆様のご協力・ご支援をお待ちしております。



株式会社 富山環境整備 様



株式会社 北陸銀行 様

【ご協力をいただいている企業様、及び設置場所】

株富山環境整備、株北陸銀行(越前町支店・丸の内支店)、三菱ケミカル株、学校法人富山県自動車学園(黒部自動車学校・滑川自動車学校・富山自動車学校・高岡自動車学校・砺波自動車学校)、株コーチン、株富山ヤクルト、北陸コカ・コーラボトリング(株)、株ベネフレックス、株ジャパンビバレッジウェスト富山支店、株ダイドードリンコ北陸、コーチンサントリービバレッジ、株伊藤園、富山県庁、富山県警察本部、運転教育センター、交通機動隊、県内各警察署

(令和元年6月1日現在)

平成30年度中、会費を納入いただいた賛助会員の皆様
温かいご支援ありがとうございます。

賛助会員 (敬称は略)

法人・団体

砺富株富学富株富株(一財)富山勤労総合福祉センター(呉羽ハイツ)
砺富株富山工学校
砺富株富山警察協会
砺富株富山警友会
砺富株富山県警友会
砺富株富山県警友会
砺富株富山県警友会
砺富株富山県小型運輸(株)
(学)富山県自動車学校
富山県指定自動車教習所協会
株富山県自動車教習所富山県第一自動車学校
富山交通産業(株)
富山県信用組合
富山県綜合警備保障(株)
株富山自動車技術研究所富山県中央自動車学校
富山県トランク(株)
富山県元刑事事友の会
富山県遊技業防犯組合連合会
富山市サイクリング協会
とやま市漁業協同組合
富山シティーロータリークラブ
富山市八尾山田商工会
富山商工会議所
富山信用金庫
富山総合ビルセンター(株)
株富山第一銀行
富山中央安全運転管理者協議会
(公財)富山県交通安全協会富山支部
富山通商(株)
富山テレビ放送(株)
富山トヨタ自動車(株)
富山トヨペット(株)
富山みらいロータリークラブ
富山菱光コンクリート工業(株)
トヨタカローラ富山(株)
株トンボ飲料
(有)中川建設
(株)中西電気
中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸(株)
お食事処中藤
中村印刷工業(株)
なのはな農業協同組合
(株)南砺工業所
日医工(株)
二チネツ
日伸精機(株)
日本海ギフト(株)
日本海電業(株)
日本生命保険(相)富山支社

日本海電業(株)
日本生命保険(相)富山支社

個人

青	山	和	雄	義	孝	橋	道	男	志	藤	久	利	満
青	山	克	彦	子	樹	畠	百合	子	一	伏	市	邦	広治
赤	松	俊	一	詠	幸	坂	道	惠	夫	法	寿	吉	矢良子
麻	井	重	行	久	弘	林	高	一	良修	法	リ	宗裕	雄保
浅	野	好	彰	美	立	井	高	正	ユ	堀	一	隆	美和
天	池	順	一	竹	紘	下	竹	信	憲仁	堀	志	富雅	紘勉
飴	井	朗	治	熊	壽	本	武	慎	幸	堀	寿	光正	一子
生	駒	和	子	島	建	藤	竹	信	一	本	間	修伴	稔次
石	黒	洋	二	原	伸	田	田	信	夫	前	土	外	栄子
石	田	隆	信	原	喜	田	田	信	介	牧	土	美豊	明子
板	谷	龍	二	桂	源	田	田	和	美	松	田	淳	吾人
市	崎	日	出	勝	伸	田	田	比	滿	松	間	眞守	
井	波	鐵	夫	神	喜	水	田	呂	学	松	土	典	
猪	熊	典	実	村	泰	路	田	正	久	水	西	富	
今	井	義	美	谷	彦	杉	本	英	正	宮	西	正	
岩	城	瑠璃子	基	谷	英	杉	口	基	二郎	宮	新	敏	
上	田	弘	勉	岸	英	関	口	勉	路	宮	能	久	
上	田	記	文	岡	裕	瀬	口	文	志	宮	能	吉	
内	生	藏	秀	川	一	戸	戸	文	雄	宮	廣	佐	
梅	津	正	治	北	美智子	大	大	文	雄	宮	平	和	
浦	田	啓	昭	北	幸	上	上	外	次	宮	平	謙	
圓	谷	竹	桂	北	雄	井	井	哲	弘	宮	平	秀	
大	江	ト	桂	城	八	木	木	年	美	宮	廣	直	
大	懸	モ	大	能	恵	倉	倉	慶	司	宮	広	康	
大	純	夫	大	久	高	橋	橋	千	樹	宮	福	樹	
大	野	和	大	際	高	正	正	恵	芳	島	福	男	
大	野	幸	大	康	栗	樹	永	直	芳	島	福		
					原			人					

その他に富山県警察の全職員及び匿名希望者

総数 2,511名

“支援の輪”にご協力ください

私たちの活動は、皆様からの会費・ご寄付等で支えられています。センターの支援活動は全て無料で行われますが、そのためには経費が必要になります。被害者等の方が安心して相談できるセンターでありたいと、日々努力しています。

皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

賛助会員ご加入のお願い

○ 賛助会員とは

当センターの目的に賛同し、事業を財政面で支援する法人・団体または個人です。

○ 年会費

◎法人・団体会員 1□ 10,000円
 ◎個人会員 1□ 2,000円
 (□数に制限はありません)

賛助会費については、金額(□数)を問いません。

○ ご入金の方法

◎当センター発行の「払込取扱票」にご記入の上、お近くの郵便局でご入金願います。(「払込取扱票」についての、事務局(電話 076-413-7820)にお問い合わせください。お待ちしております。)





ホンデリング～本で広がる支援の輪～にご協力ください。

皆さまの読み終えた『本』のご寄附で、犯罪被害に遭われた方々への支援の輪を広げましょう。読み終えた本やCD・DVD・ゲームなどがあれば、当センターにお持ちくださるか、ご連絡いただければ引き取りに伺います。

平成30年度は、535冊分のご寄付がありました。
多大なご協力ありがとうございました。



● イオン黄色いレシートキャンペーンにご協力を ●

毎月11日にイオン高岡南店でお買い物され、黄色のレシートを店内に設置された投函コーナーにある当センターのボックスに入れていただきますとレシート合計金額の1%相当額の物品がイオントリニティール株様から当センターに寄贈されます。それを支援活動等の事務用品類等に有効活用させていただいておりますので、皆様のご協力をお願いします。



◆募金箱設置◆

現在、県内68箇所に当センターの募金箱を設置させていただいております。

募金箱を設置していただける施設や企業・団体のご協力をお願いしています。県民の皆さまが募金をご協力いただくことにより、被害者支援活動に貢献し、被害者等の方々の支援をすることになります。



編集後記

目を覆いたくなるような事故・犯罪が後を絶ちません。「私たちに何ができるか」を常に問いかけながら、被害者ご本人、ご家族・ご遺族の方々の為に、関係機関・団体と共に連携を強化し、社会全体で支える活動を行わなければと強く感じます。

公益社団法人 とやま被害者支援センターだより 第30号

令和元年6月25日発行

発行／富山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人とやま被害者支援センター
責任者／事務局長 奥井 博義
事務局／〒930-0858 富山市牛島町5番7号
TEL : 076-413-7820 FAX : 076-471-7825
E-mail / jimukyoku@toyama-shien.com
ホームページ / http://www.toyama-shien.com

